

普天間基地の無条件撤去を求める意見書 不採択

消費税増税反対意見書とも

日本共産党武豊町議員団は、政府に対する意見書を積極的に提案し、その採択のために努力しました。

6月議会には、国政上の焦眉の課題となっている普天間基地の無条件撤去を求める意見書

見書と消費税増税反対を求める意見書の2件を提出。梶田進議員は、2意見書に対する賛成討論を行い、支持を訴えました。それらの審議・採否状況を紹介します。

賛成、×反対

梶田進議員 賛成討論

日本共産党

沖縄の県民・平和と暮らしを守れと願う町民の声を代表して

意見書名	提出者	採否	日本共産党	平和クラブ	情熱	町民クラブ	公明党	無党派
8号 普天間基地無条件撤去を求める意見書	日本共産党議員団	不採択		×	×	×	×	
9号 消費税増税反対意見書	日本共産党議員団	不採択		×	×	×	×	

意見書第8号

「普天間基地の無条件撤去を求める意見書」

「もともと普天間基地は、

太平洋戦争末期の沖縄戦のさなかに、戦時国際法にも違反して一方的に土地を奪って建設し、その後も「銃剣とブルドーザー」で県民をおどして拡張してきたものである。」「沖縄県議会は2月24日「米軍普天間飛行場の早期閉鎖・返還と県内移設に反対し、国外・県外移設を求める意見書」を全会一致で可決し、名護市議会も「普天間飛行場代替施設のキャンプ・シュワブ陸上案の検討に反対する意見書」を全会一致で可決した。普天間の苦しみは、基地を何処へ移設しても解決するものではない。」「として、「今こそ基地のたらい回しではなく、沖縄普天間基地の無条件撤去を

行うよう強く求めるものである。」「

意見書第9号

「消費税増税反対意見書」

「消費税は、導入時から現在まで、「社会保障のため」

「国の財政が大変」などが増税の理由とされてきたが、消費税実施後は、医療や年金などの社会保障が改善され、国の財政赤字は膨らみ続けた歴史だった。」「消費税が増税されれば、冷え切っている国民の消費がさらに落ち込み、地域経済はいっそう悪化してしまう。そもそも消費税は大金持ちには負担が軽く、所得の低い人ほど重くなる、最悪の逆進的な税制である。」「と指摘し、「国民のくらしや家計を守るため、消費税の増税は行わないこと、また、食料品はじめ生活必需品を非課税にするなどくらしにかかる消費税を緊急に減税することを求める。」「